

市長年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

市長に就任して1年余りが経過しましたが、この間、公約に掲げた4つの柱の基本姿勢に基づき市政運営に全力で取り組んでまいりました。

この1年間の取り組みを振り返りますと、まず「地域医療の充実」では、県立釜石病院の建替えが令和12年度までの計画期間内に着手することが明記された他、令和7年度内の地域医療連携推進法人の設立に向け、参画団体とより具体的な協議を開始しました。

「子育て支援」では、「こども家庭センター」を設置し、こども達への一体的な切れ目のない支援体制を構築した他、本市が実施したアンケートで「室内のこどもの遊び場」の設置を求める声が多く寄せられていることから、こどもの遊び場の整備に向けた検討を進めているところです。

「教育の充実」では、放課後の時間等を活用した学習会や、夏休みを利用した「かまishi英語教室」の開催、英検受検料の支援など、児童生徒の学力向上に取り組んでいる他、市全体が学びの場となる「釜石オープン・フィールド・カレッジ」構想として、東京大学の4つの研究所と連携し、本市の未来を担う人材の育成やあらゆるライフステージに応じた学びの場を提供しました。

「産業振興」では、昨年9月に環境省から「脱炭素先行地域」に選定されました。今後、太陽光発電や蓄電池の導入、ブルーカーボン・オフセットの創出等、地域脱炭素化に向けて取り組みます。

市内事業者においては、長引く原油価格・物価高騰の影響により、厳しい経営環境が続いておりますが、さまざまなつながりを生かした波及効果等を通して、地域経済の活性化に向けた取り組みを推進するなど、本年に関しましても、財源や社会情勢等を考慮しながら、4つの柱のさらなる充実を図ってまいります。

加えて「防災」については、震災から学んだ教訓を後世に伝え、あらゆる災害から未来の命を守るために制定された「釜石市防災市民憲章」の理念を継承し、地域防災力の向上と安全安心なまちづくりに努めてまいります。

こうした取組により、郷土釜石を最高の状態で次の世代に引き継げるよう全力で取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

釜石市長 小野 共

